1994 年 2 月 28 日 第三種郵便物認可 2024 年 1 月 15 日発行 ＴＳＫ通巻第 2956 号 きゅうどうしゃ第 71 号

TSK きゅうどうしゃ

No.71

編　集：社会福祉法人求道舎　（年度２回　７月・１月発行）
〒039-2516　青森県上北郡七戸町字舘野 32-15　TEL：0176-62-3631　FAX：0176-62-3694
E-mail：kyudosya@ruby.ocn.ne.jp　ホームページ：http://www.kyudosya.jp

おひさしぶりです

奥中山教会牧師　長尾　邦弘

長尾邦弘牧師

「その人は流れのほとりに植えられた木。ときが巡り来れば実を結び葉もしおれることがない。」（詩編 第1編）

36年前、中津徳平元理事長が奥中山の特別支援学校三愛学舎の校長を退任され、おおばこ作業所を立ち上げたとき、私は七戸教会牧師になって2年目でした。ご自宅の裏のプレハブで、鳴らないロ笛を吹きながらせっせと作業を進めておられた姿を思い出します。時は巡って昨春、私は再びこの奥羽の地に招かれて奥中山教会に赴任しました。まさに神のなさることは不思議です。

七戸在任中の11年間には、駆け出しの牧師としていろいろな方々に助けられ、また、ご迷惑もかけながら多様な経験をさせていただきました。特に求道舎・おおばこ作業所の皆さんと交流できたことは今につながる大切な宝であり、力となっています。

先日、懐かしいおおばこ作業所をお尋ねしたところ、その頃としては珍しかった福祉喫茶「フレンドリー北斗七星」に来てくれていたH君や、Tさんが「長尾先生！」と名前を呼んで、笑顔で私に声をかけてくれました。26年ぶりの再会です。とてもうれしく、感激しました。と同時に、その頃親しかった方々の中で天に召されたり、ここを離れた方などがあることをお聞きするにつけては時の流れを感じました。

１９８０年代の発足当時とは社会福祉関連の法律は大きく変わり、障がいを持った方への見方も変化してきていると思います。しかし、その根底にある人間観というものはどうでしょうか。大変気になるところです。そこから人権感覚につながるからです。どの人も平等で、生きる権利、幸せを追求する権利があると憲法は保証しますが、その憲法を変えてしまおうという意見もあるくらいです。

求道舎は根底にキリスト教の精神を据えて、大事にしてきたと思います。そこにある人間観は、人間は神によって作られた存在であって、しかもどの人も神に愛されている、というものです。私たち人間は、どうしても自分の基準で物事をはかり、優劣や快不快に左右されてしまいます。しかし、一人一人の存在にはそれを超越する価値があることを、求道舎の歩みと、かかわる皆さんの現実の中に私は感じます。先日の再会の時がまさにそうでした。

冒頭に詩編の第一編を引用しました。一見、ただ立っているように見える木も、見えないところでその根が水を吸い上げることによって、枝のすみずみにまで水分と栄養がいきわたります。しかも流れのほとりに植えられている木なら、それはいかに幸いなことでしょうか。

現在、私はかつて中津先生のおられた岩手県北、奥中山において知的障がいのある方々、関連施設職員・関係者が多くを占める教会で礼拝を毎週捧げています。また、カナンの園や三愛学舎と連携しながら活動をしています。そして私がここに遣わされたことに神の導きを強く感じています。そこには七戸でおおばこのみなさんと交流できたことが自分の中の実となっていると感じるのです。

これからのあゆみも、ご一緒に進められたら幸いです。

求道舎は どう運営されているか？

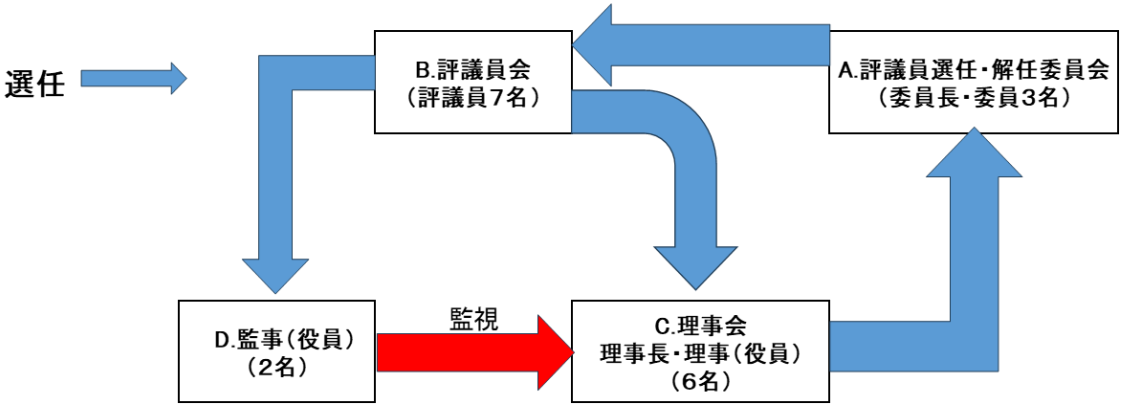
理事長
小原　義夫

当法人に関わって下さっている多くの関係者の方々、日頃のご支援に心から感謝申し上げます。さて、法人がどう動かされているのか、という事が外部の方によく見えているだろうか？というのが、このテーマを選んだ理由です。法人の内部が外の人からしっかり見えるということ（透明性と言います）が、その法人の健全性の指標です。先号（２０２３年７月）では、財政状況をお伝えしましたので、本号では主に「人を選ぶ」ということについてご説明したいと思います。

何時の時代でも、と言って過言でないのが、法人におけるお金に絡む不正です。多くは公金の横領ですが、法人を売り買いして、理事長が多額の不正な収入を得たなどというのも最近報じられていました。人間は本来的に「間違いを犯す」生き物ですから、放っておけば、故意であるか過失であるかを問わず必ず不正が行われます。これを防ぐためにどんな組織でも、規程を定めて、間違いや不正が起こらないように歯止めをかけています。（組織統制と言います）

求道舎には、分厚い規程集というのが有ります。一番初めに、創立時に定めた「定款」。これには、設立の目的や、基本財産、運営の基本的しくみなどが書かれています。書き切れない細部をまとめたのが、規程集です。求道舎の規程集は、相当充実したものですが、これらの整備は基本的に第２代理事長、田中七郎氏のご努力によるものだと伺っています。ありがとうございました。

さて、当法人運営規程の要（かなめ）の部分は、評議員、理事、監事、評議員選任・解任委員の働きです。これらの方々のお仕事は、最も大事な事として「人を選ぶ」ことおよび「大きな方針を正しく判断する」ことです。組織を正しく動かすのも、間違いを犯すのもそこに居る人間ですから、組織統制の一番の基礎部分は「人」です。この「人」がどう選ばれているのか見てみましょう。



図をご覧ください。少し分りにくいですが、よくご覧いただくと、役員・委員の構成するそれぞれの会議体は、互いに牽制が働いていて、どれも単独では勝手ができないようになっています。日常業務を担う理事と監事は評議員会によって決められ、評議員は評議員選任・解任委員会によって決められ、選任・解任委員は理事会によって決められます。また理事長は理事の間の互選ですから自動的に決まるものではありません。この様に、誰も勝手に人を選べないようになっているのです。この様にして多くの人の眼を通して、人格と識見に優れ信頼できると判断された人たちが、法人の運営に当たることになります。委員の皆さんには、年に何回かお集まりいただき、必要な決議等をしていただいています。この場を借りてお礼を申し上げます。

利用者支援の第一線（私は「現場」と呼んでいます）での規律・統制はどうなっているのでしょうか？今回はスペースが足りませんので、次回以降で取り上げることにいたしましょう。

おおばこ作業所

【クリスマス会】

12月15日にクリスマス会がありました。求道舎は、キリスト教によって立つ運営をしていますので、毎年クリスマスには、七戸教会で礼拝を行ないます。

野口忠子牧師のお話やお祈り、利用者さんによる手話つきの歌と職員のハンドベル演奏などでクリスマスをお祝いしました。

【農福マルシェ開催！】

10月28日と29日の二日間にわたり「道の駅しちのへ感謝祭」が開催されました。

工賃向上支援協議会では、「農福マルシェ」ということで29日に移動販売車による地域の福祉施設の商品販売を行いました。おおばこ作業所では、落花生とジャムを販売しました。

たくさんのお客さんが来店して下さり、てんてこまいでしたが、その分売り上げも今までにない程でした。皆様、お買い上げありがとうございました。

農福マルシェ

「農業」と「福祉」が連携して開催する市場のことです。（マルシェはフランス語）

工賃向上支援協議会

福祉事業所や行政、企業などによる協議会。おおばこ作業所が地域の事務局を担当しています。

２０２３年度産、落花生販売中!!

ご注文は TEL 0176-62-3631
FAX 0176-62-3694

クローバー作業所

【レクリエーション】

今年度も例年通り、春フェス・夏フェス・秋フェスを楽しんでいます。そんな中、11月24日に4年ぶりの親子レクを実施しました。場所はイオン下田。久しぶりのお出掛けレクを満喫しました。参加していただいた保護者の皆様ありがとうございます。今年度のレクも残すところ、冬フェスだけとなりました。精一杯楽しみたいと思います！

【あずまし本舗】

今回はいつも作業でお世話になっている『あずまし本舗』の紹介をしたいと思います。あずまし本舗は野辺地町にある会社で、野辺地町の特産品を使った商品を作っています。今回は、あずまし本舗の髙橋社長にお話を伺いたいと思います。

―― あずまし本舗ではどんな商品を作っていますか？

地元の食材を使用して、キムチや漬物を作っています。また、レンジで調理できる味噌貝焼きや解凍するだけですぐに食べられるホタテの刺身なども販売しています。

―― 商品はどこで購入できますか？お取り寄せも可能ですか？

地域密着型スーパーマーケット・マエダや道の駅などで販売しています。ネットショッピングも出来るので、日本中どこでも私たちの商品を味わうことが出来ますよ！！

―― ところで、クローバーに作業をしてもらうことになったきっかけは？

障がい者雇用を検討していたところ、ハローワークでクローバー作業所を紹介してもらいました。その後、僕が直接作業依頼をすると、クローバーさんは快く引き受けてくれ、それがきっかけで今も作業をお願いしています。

―― クローバーには、どんな作業を依頼していますか？

クローバーさんには、主にパッケージのシール貼り作業をお願いしています。

―― ずばり！！クローバーの仕事ぶりは？

よく働いてくれて、とても助かっています。作業も早くて上手です。これからも作業をお願いしたいと思っています。

―― 最後にあずまし本舗のPRをお願いします。

野辺地町の特産品であるホタテ・カブを使用した商品を多く取り扱っています。多くの方に野辺地の特産品を美味しく味わっていただきたいです。ぜひ一度、ご賞味ください！！

ご注文希望の方は、
下記の連絡先まで
お問い合わせください。
↓↓↓

あずまし本舗
〒039 - 3161
青森県上北郡野辺地町馬門道 45 - 1
【TEL】0175 - 73 - 1102
【URL】https://www.azumashihonpo.com

野辺地地区のグループホーム

いよいよ建設開始！！　来年度中の完成を目指す

野辺地町枇杷野地区に建設を計画していたグループホームですが、基礎工事がほぼ終了しました。

工事は始まったばかりですが、たくさんの方々のご協力のおかげで、ようやくここまで辿り着きました。枇杷野地区の皆様、長濱自治会長、住民説明会の際にはわざわざお越し頂き、率直なご意見をありがとうございました。

訪問した際に応援してくださった野村町長、福祉課の方々、ご寄附を通して応援してくださった皆様、その他にも、関わって頂いた全ての皆様に、本当に感謝申し上げます。完成後も皆様に応援して頂けるような施設を目指します。

今後の工事の予定ですが、10月に開始した工事は、12月末で一旦お休みします。その後、雪が解けた4月頃から再開し、2024年9月末頃に完成予定です。

完成後には内覧会を予定していますので、ぜひお越しください。遠方の方々にはこの機関誌を通してまだご報告いたします。

起工式　式次第

日　時　2023 年 10 月 20 日 10 時 30 分
場　所　野辺地町字枇杷野 50-38
司　会　社会福祉法人求道舎
　　中津　一洋事務局長
司　式　日本基督教団　野辺地教会
　　湊　理恵伝道師

招　　詞
祈　　り
讃 美 歌　18 番「心を高くあげよ！」
　　1 節，3 節
聖　　書　マタイによる福音書
　　7 章 24～25 節
メッセージ　湊　理恵伝道師
　　（日本基督教団野辺地教会）
（祈 り）
起 工 式
主の祈り
讃 美 歌　504 番「主よ、み手もて」
　　1 節，2 節
祈　　り　野口　忠子牧師
　　（日本基督教団七戸教会）
祝　　福　澤橋　登牧師
　　（日本基督教団大三沢教会）

起工式　湊牧師による司式（上）／小原理事長による鍬入れ（中）／完成した基礎（下）

編集後記

▼新年を迎えたとたん能登半島地震がありました。東日本大震災を思い出しました。心が痛みます。個人的には、ガソリン不足で何時間もスタンドに並んだことを思い出します。被害にあわれた方々、お見舞い申し上げます。▼今回は1月の発行になりました。あわただしい中での原稿依頼にお応えくださった方々、ありがとうございます。（伊瀬谷秀史）

編集者　社会福祉法人求道舎　〒039-2516　青森県上北郡七戸町字舘野 32-15　℡0176-62-3631
発行所　東北障害者団体定期刊行物協会　〒980-0874　宮城県仙台市青葉区角五郎 1-12-6　頒価 100 円